

ゆきとどいた教育をすすめる

全国3000万署名 「推進ニュース」

2004. 11. 17 NO. 9

700の個人・団体に要請（長崎）

「ゆきとどいた教育をすすめる全国3000万署名」へのご協力をお願い
・・・前略・・・この大きな署名と広範な国民世論が、教育条件整備・拡充の大きな力となっています。本県では、今年度、公立小中学校の12校が、少人数学級の「指定校」になり第1学年30人前後の編成となっています。また、本県私立高校生一人あたりの助成金は約1500円の増額（30万3983円）となりました。義務教育費国庫負担制度については、その基本部分が引き続き堅持されました。これらの成果を踏まえ、今年度は「全学校での30人以下学級の実現」「私学助成の全国平均なみへの引き上げ」（全国35位）「義務教育費国庫負担制度の堅持」「公立高校統廃合の中止・小規模校の存続」などをめざして、運動をさらに大きなものにしていきたいと願っております。つきましては、署名の趣旨にご賛同いただき、ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

目標達成第1号！（桜ヶ丘養護分会）

組合員ひとり50筆の分会目標を、大きく2倍上回り目標達成の第1号分会となりました。

公私共同で街頭署名

長崎支部と諫早支部は、「長崎の私学助成をすすめる会」との共同で、長崎市鉄橋での街頭署名に取り組みました。

ネットを大いに活用

島原支部は、長年にわたって作りあげた多くの幼稚園・保育園との協力関係のネットワークを大いに生かして、分会ごとにくまなく要請をすすめています。

PTAのとirikumi 増える（栃木）

小・中・高校での少人数学級実現と私学助成の充実を求める請願署名への協力依頼が、全教栃木教職員組合からありました。より充実した教育のためにも、少人数学級は有効な方法かと思えます。本部内でも協議した結果、協力することにします。参観日に、各教室入口の受付に署名用紙を用意しておきますのでご協力ください。

（A小学校PTA）

本部役員会で決定し、小学校PTAへ申し入れをおこないました。複数のPTAが協力を約束してくれました。その中で、授業参観日などでとりまかれています。昨年と比べて、PTAのとirikumiが増えています。

義務国庫で「記者会見」を実施

「三位一体の改革」の全体像のあり方について、地方6団体案と政府との間で、矛盾がかつてなく増大している情勢のもとで、11月15日、三輪定宣（千葉大学名誉教授）さん呼びかけ人代表とする「義務教育費国庫負担制度堅持を求めるアピール」とかかわって、記者会見を実施しました。10月初より教育研究者中心にアピール賛同の協力を呼びかけてきました。呼びかけにこたえ、100名の研究者が賛同に応じてくれ、52名がコメントを寄せてくれました。会見で三輪先生は、寄せられたコメントを紹介するとともに、改めて、財政難を背景とした財政合理化を主たる動機とした、教育論不在を指摘するとともに、学級規模との関連にもふれて、「少人数学級のもとで育まれる質の高い学力と人間性の形成こそ時代が求めている方向」と強調しました。

（研究者から寄せられたコメント）

「国の自殺行為」「狂気の政策」「亡国の政策」「公教育を破壊」「教育環境を破壊」「未来を破壊」「日本の未来に大きな禍根」「教育の歴史に逆行」「国際的にも日本の教育費の低落をいっそう促進」「国としての責任放棄」「弱者を切り捨て」「豊かな国日本の貧困」「教基法改悪と一体」「不当な支配を許さない」などの厳しい批判がめだちました。「文化・教育のために注いでこそ税金はいきます」などの提言も含まれています。